

南あわじ市

南あわじ市立倭文小学校

住所 南あわじ市倭文庄田250番地
沿革

- 明治10年 庄田小学校創立
- 昭和32年 緑村立倭文小学校と改称
- 昭和35年 緑町立倭文小学校と改称
- 昭和52年 創立百周年式典挙行
- 平成17年 南あわじ市立倭文小学校と改称



学校の特徴

淡路島のほぼ中央部に位置し、地名にもなっている倭文織り(しづおり)と呼ばれる美しい織物を作ることが盛んな地でした。本校では、「倭文織(しづおり)活動」と「ふくちゃん祭り」という特色ある活動を行っています。倭文織活動では、自作の織機を使って、高学年の児童が低学年の児童に縦糸の掛け方や織機の使い方を伝える形で、織物体験を行っています。また、ふくちゃん祭りでは、社会福祉協議会、老人会、手話サークル等と連携を図りながら、「障害のある人」や「高齢者」との交流を深めています。これらの活動を通して、心豊かなしづおりっ子育成をめざしています。

南あわじ市立湊小学校

住所 南あわじ市湊里1502番地1

沿革

- 明治7年 智積寺に創立
- 昭和45年 現在地に移転
- 平成17年 南あわじ市立湊小学校と改称



学校の特徴

主体的に行動できる児童の育成をめざし、「農業体験活動」では地域の方の指導を仰ぎ、淡路玉ねぎの栽培を3年生で、米作りを5年生で行っています。「3UP(学力・体力・マナー)」としてJSLカリキュラムを活用した「わかる授業づくり」、読書活動の推進、音楽集会での全校合唱、学習タイムで確かな学力を育成しています。校庭の遊具をリニューアルし、体力UP実行委員が考えたサーキット種目に挑戦しています。児童の自主組織、実行委員会(あいさつ・体育会・体力UP)を組織し活動を広げています。

南あわじ市立辰美小学校

住所 南あわじ市津井2285番地4

沿革

- 平成17年 津井小・丸山小・阿那賀小・伊加利小が統合し、南あわじ市立辰美小学校創立



学校の特徴

平成17年、津井・丸山・阿那賀・伊加利の4小学校が統合して新設されました。校区が広く、約半数の児童がバスで通学しています。新しい校舎からは、数多くの風力発電の風車が見え、学校の名前の由来となる「辰美山」が目前に広がっています。「辰美」とは「竜」が「棲む」山が由来とされています。それぞれの地区は、自然、歴史、文化、産業などにおいて特徴的です。地域を題材にした学習も多種多様で、全学年を通じて実施しています。特に、どの地区の児童にとっても辰美小学校区全体がふるさとと感じられるよう、「探検!発見!ふるさと辰美」と称した校区探検を毎年対象地区を変えて実施しています。

南あわじ市立松帆小学校

住所 南あわじ市松帆江尻594番地
沿革

- 明治7年 樺田小学校創立
- 明治13年 知新小学校と改称
- 昭和22年 西淡町立松帆小学校と改称
- 平成17年 南あわじ市立松帆小学校と改称



学校の特徴

本校の校区には、国の名勝で瀬戸内海国立公園に指定されている慶野松原があります。日本の白砂青松百選にも選ばれています。毎年10月には校区探訪「地域を知ろう」という行事を行い、老人クラブをはじめ地域の方々の案内で、校区内の文化財や神社、寺を歩いて見学し、地域の歴史や文化、伝統などについて学んでいます。また、地域の農業指導者の協力による「玉ねぎ作り体験」「米作り体験」や老人クラブの方々に講師にした「昔の遊びを楽しむ会」などを実施し、家庭・地域と連携した体験活動に取り組んでいます。完全ノーチャイム制の導入により、児童が自律的に時間を守り、落ち着いた生活態度の育成に大きな成果を上げています。

南あわじ市立西淡志知小学校

住所 南あわじ市志知南16番地

沿革

- 昭和33年 西淡町立志知小学校創立
- 昭和61年 鉄筋新校舎落成
- 平成17年 南あわじ市立西淡志知小学校と改称



学校の特徴

本校は神戸淡路鳴門自動車道の西淡三原ICが近く、学校のすぐ東側には陸の港西淡(高速バスターミナル)があり、京阪神や四国を結ぶ交通の要所に位置しています。また、校区は、豊かな自然に囲まれた農業が盛んな地域です。本校への地域住民の愛着は深く、地域の教育力が非常に高いです。そこで本校の教育活動は、自然・人とのふれあいを大切に、「ふるさと」に目を向けた、地域と連携した取り組みを進めています。

南あわじ市立榎列小学校

住所 南あわじ市榎列大榎列1426番地1

沿革

- 明治7年 自凝小学校として創立
- 明治21年 榎列小学校と改称
- 昭和56年 本館校舎竣工
- 昭和49年 創立百周年記念式典
- 平成17年 南あわじ市立榎列小学校と改称



学校の特徴

本校は、神々が作り出した最初の島、という国生み神話に彩られた「おのころ島神社」や高度な農業技術を生かして行われる水稲、玉葱、レタス、白菜、キャベツなどの三毛作の三原平野に位置し、「自主・協同・勤勉」を校訓にし、139年の歴史があります。本校の教育目標は、「豊かな心をもって、生き生きと学び合う子の育成」であり、「学ぶことが楽しい学校」を合言葉に、全教職員の共通理解を図り、協働体制のもと目標達成に努めています。

南あわじ市

南あわじ市立八木小学校

住所 南あわじ市八木大久保590番地
沿革

- 明治7年5月1日 上八木組安楽寺に養宜小学校創立
- 明治10年7月 鳥井組に移転
- 昭和39年4月 現在地に移転
- 平成16年9月 耐震工事完了
- 平成17年 南あわじ市立八木小学校と改称



学校の特徴

三原平野の東部に位置する本校は、成相山系を源とする成相川と論鶴羽山系を源とする三原川に挟まれた農業を主産業とする古くから開けた地域にあります。淡路国分寺をはじめ成相寺、養宜館跡等史跡も多く、また、淡路ファームパークイングランドの丘、淡路島牧場などの観光施設も校区にあります。伝統芸能である「大久保踊り」は本校の体育会や学習発表会、福祉施設訪問等で披露し、受け継がれています。校訓は、「あかるく、なかよく、たくましく」。全校児童約180名。人懐っこい八木っ子たちの笑顔が今日もあふれています。

南あわじ市立神代小学校

住所 南あわじ市神代富田3番地

沿革

- 明治6年 三原公学校(時習館)創立
- 明治20年 神福尋常小学校と改称
- 昭和22年 神代小学校と改称
- 昭和49年 全国体育優良校表彰
- 平成17年 南あわじ市立神代小学校と改称



学校の特徴

本校区は、昔から農業を中心として栄えてきた地域であり、神福(くましめ)、地頭方、国衝などの地名が残っています。伝統的にスポーツや文化活動が盛んで、学校・家庭・地域が連携した様々な活動が積極的に展開され、十分に成果も上げています。近年、国道沿線の開発、少子化等が進んでいますが、教育に対する関心は極めて高く「地域の子どもは地域で育てる」という気風は今も息づいています。このような地域の特性を踏まえて、明るく元気な学校、保護者に信頼される学校、地域とともに歩み、地域に根ざした学校づくりを進めています。

南あわじ市立賀集小学校

住所 南あわじ市賀集1000番地

沿革

- 明治11年 賀集小学校創立
- 昭和52年 新校舎落成
- 平成4年 大規模改修
- 平成17年 南あわじ市立賀集小学校と改称
- 平成19年 耐震工事完了



学校の特徴

「こころ豊かに たくましく生きる 賀集っ子を育てる」を教育目標に定め、「か」んがえる子・「し」んぼうのできる子・「ゆ」うきのある子・「う」つくしい心の子の育成に努めています。七夕集会やもちつき大会などの学校行事や、生活科や社会科の学習で、老人会や自治会の方の協力をいただき交流を深めています。また、環境体験学習でも地域の特産物である玉葱の栽培を題材としたり、総合学習において伝統芸能である柗踊りを受け継いだりするなど、ふるさとに学ぶ活動を保護者や地域の方とともに進めています。

南あわじ市立市小学校

住所 南あわじ市市福永345番地1
沿革

- 明治13年 正新小学校創立
- 昭和22年 市小学校と改称
- 昭和46年 郷土文化部創部
- 平成17年 南あわじ市立市小学校と改称



学校の特徴

校区は、南あわじ市のほぼ中央に位置し、行政上公共施設も多く、南あわじ市の中心地としての役割を果たしています。歴史的に由緒ある地域で史跡も多く、淡路人形浄瑠璃など文化芸能の発祥地としての誇りがあり、その積極的な保存活動とともに、文化的環境に優れた特色があります。この素晴らしい環境を生かし、本校では昭和46年に郷土文化部を創部、著名な継承者を師匠として招聘し、淡路人形浄瑠璃の語りに取り組んでいます。また、毎年5年生6年生は壇尻唄にチャレンジし、郷土文化部とともに、地域の文化祭、伝統芸能発表会などでその成果を披露しています。これらの活動を通して子どもたちは地域の誇りとその素晴らしさを受け継いでいます。

南あわじ市立三原志知小学校

住所 南あわじ市志知佐礼尾9番地1

沿革

- 明治7年 日知小学校創立
- 昭和32年 三原町立志知小学校と改称
- 昭和49年 創立100周年
- 平成17年 南あわじ市立三原志知小学校と改称



学校の特徴

西淡三原ICが近く、交通の便がよい市の中心部にある学校です。学校の周りは自然がいっぱいで、北側には田畑が広がり、南側には校章にデザインされている鶴が舞い降りた伝説がある鶴来山がそびえています。校区には戦国時代の城「志知城跡」や吉備国際大学地域創成農学部もあります。児童数は少なく、複式学級で学習しています。全校生の仲が良く、遠足や体育会、鶴来山登山など縦割りグループでいろんな行事をしています。伝統芸能「中島踊り」の伝承、米や野菜づくりの農業体験、大日川の調査・清掃ほか様々な体験活動を地域の方といっしょに行っています。

南あわじ市立福良小学校


住所 南あわじ市福良乙1205番地

沿革

- 明治6年 福良小学校創立
- 昭和9年 現在の地へ移転
- 昭和51年 現在の校舎完成
- 平成17年 南あわじ市立福良小学校と改称



学校の特徴

【校章】 【いわれ】 【校訓】
 銀色のつるぎ 強く
 白いかがみ 正しく
 光るまがたま 美しく
 校章は、三種の神器にちなみ校訓を表現しています。きらきら光る玉の意匠は、鳴門のうず潮をあらわしています。
 ♪ 誇り めぐみ 久遠の 郷土 ♪ (校歌の一節)
 教室から見える福良の街は、大変すばらしい。「ふくろ」状の湾(福良の語源になっている)、三方を山に囲まれた暖かい気候、海からの恵み、生活する人々…。広い運動場と156mの長い校舎、恵まれた環境の中で、誇りと夢を持って学んでいます。

南あわじ市

南あわじ市立北阿万小学校

住所 南あわじ市北阿万新田中217番地
沿革

- 明治 7年 筒井小学校創立
- 明治 24年 北阿万尋常小学校と改称
- 昭和 22年 北阿万小学校と改称
- 昭和 48年 北阿万小学校100周年
- 平成 17年 南あわじ市立北阿万小学校と改称



学校の特徴

“花と夢のある学校”

- 一人一株運動を行い、花のある学校づくりを進めています。
- 縦割りのなかよし班による行事活動を継続し、異年齢の中で支え合い、助け合う教育活動を推進しています。
- 地域の伝統芸能である「きつね踊り」や「机踊り」に意欲的に取り組み、郷土の文化を継承しています。
- 読書に親しむ児童の育成を図るため、地域読書ボランティアを募り、読み聞かせを週1回行っています。
- 地域と連携した様々な体験活動に取り組み、ふるさとを愛し、命を大切にす北阿万っ子の育成を目指しています。

南あわじ市立阿万小学校

住所 南あわじ市阿万下町420番地
沿革

- 明治 7年 神宮寺本堂にて開校
- 明治 34年 本庄尋常高等小学校と改称
- 昭和 30年 南淡町立阿万小学校と改称
- 平成 17年 南あわじ市立阿万小学校と改称



学校の特徴

本校は、運動場の真ん中に並び立つ2本の「くすのき」のように「おおらかにたくましく かおれたかく」育つ児童の育成をめざし地域とともに歩む教育活動を進めています。

1970年大阪万国博覧会に出演した「鼓笛」は形を変え、「金管楽器演奏」としてその伝統を引き継いでいます。また、地域の方々の指導のもと、20年前から「だんじり唄」に取り組み始め、学習発表会、子ども伝統芸の発表会などでその勇ましい唄を発表し、ふるさとを愛する子どもたちの育成をめざしています。さらに、子どもたちの「豊かな心」と「元気な体づくり」をめざして結成された「少年少女スポーツ育成会」組織は、学校と地域との連携を深める大きな役割を果たしています。

南あわじ市立灘小学校

住所 南あわじ市灘山本313番地
沿革

- 昭和 61年 3月 4日 灘第1小・灘第2小が統合し南淡町立灘小学校創立
- 昭和 61年 4月 1日 開校
- 平成 17年 1月 11日 南あわじ市立灘小学校と改称



学校の特徴

多くの体験活動を通して、ふるさと「灘」を知り、ふるさとを誇りに思い、ふるさとを愛する児童の育成を図る「ふるさと学習」において、老人クラブの方々と、年間に全校生交流を3回、各学年毎の交流を1回ずつ実施しています。取組内容は、餅つき体験、七夕集会、総合防災訓練、郷土料理かもちづくり、むかし遊び体験、しいたけの菌入れ体験、炭焼き体験などを実施しています。また、「灘っ子」という一つの家族の中で、一人一人の「よさ」に着目し、よさを再確認・伸長するために、毎週水曜日の児童朝会における委員会発表などの発表集会、1年生歓迎会やお別れ遠足、学期に数回行う縦割りグループ遊びや学期に1回の全校遊びを実施しています。

南あわじ市立沼島小学校

住所 南あわじ市沼島995番地
沿革

- 明治 7年 武島校創立
- 明治 25年 沼島尋常中学校と改称
- 昭和 49年 開校百周年
- 平成 14年 新校舎改築竣工
- 平成 17年 南あわじ市立沼島小学校と改称



学校の特徴

本校は、淡路島の南約4kmに位置する離島の小規模・へき地校です。少子高齢化により、児童数は13名にまで減少しています。

沼島では、小学校と中学校が隣接しているという教育環境を生かし、従前より小中連携教育に力を注いできました。確かな学力の定着と、子どもが輝く9年間の教育を創造するために、へき地教育研究会を組織し、児童理解研修や授業研究を進めています。

また、島に伝わる和太鼓のリズムをアレンジした沼島子ども太鼓が、本校の伝統として受け継がれています。「かわれり小さな島っ子なれど」人前で表現する力、ふるさとを誇りに思う心の育成をめざし練習に励み、その成果を様々な場で発表しています。

南あわじ市・洲本市 組合立広田小学校

住所 南あわじ市広田中筋121番地
沿革

- 明治 7年 勤有小学校創立
- 昭和 32年 三原郡緑町・洲本市組合立広田小学校と改称
- 平成 17年 南あわじ市・洲本市組合立広田小学校と改称



学校の特徴

本校は、南の論鶴羽山、北に先山、東西も丘陵で山に囲まれた盆地になっています。気候は、温暖で、鮎屋・初尾の二河川の流域は、地味、土質よく、米・野菜の伝統的な生産地です。広田地区は古くから梅の名所として知られており、毎年、3年生は広田梅林で環境学習として梅の収穫を行い、梅ジュースづくりに取り組んでいます。

また、特色ある活動としては、吹奏楽部が年間を通して活動し、県吹奏楽コンクールで優秀な成績を残しています。また、伝統文化を継承している郷土芸能部も多くの催しに参加しています。夏は水泳、冬はマラソンで体力づくりを行い、水泳競技や陸上競技の各種大会で活躍しています。

南あわじ市立倭文中学校

住所 南あわじ市倭文庄田547番地
沿革

- 昭和 22年 倭文村立倭文中学校創立
- 昭和 32年 町村合併により緑村立倭文中学校と改称
- 昭和 34年 町制施行により緑町立倭文中学校と改称
- 平成 17年 南あわじ市立倭文中学校と改称



学校の特徴

緑豊かな自然に囲まれた、酪農、畜産、農業を中とした農村地帯に位置しています。倭文（しとお）の地名の由来は、「天皇即位の際に行われる大嘗祭神事用として奉納されていたシズオリ（倭文）という布を織っていた地」であり、この伝承が倭文の地名になったといわれています。

全校生徒23名で、淡路地区の中でも最も小規模な中学校の1つです。校訓「しずおり」精神のもと「誠実」「勤勉」「自立」を胸に、日々学業と運動部活動、文化部活動に熱心に取り組んでいます。

南あわじ市

南あわじ市立西淡中学校

住所 南あわじ市松帆古津路577番地66
沿革

- 平成 25年 4月 御原中学校と辰美中学校の統合により南あわじ市立西淡中学校創立



学校の特徴

校訓
仲間と助け合おう（海の心）
人となりを磨こう（山の心）
思いやりを持とう（怒の心）

御原、辰美両中学校が刻んできた66年の歴史と伝統を受け継ぎ、地域と共に歩む学校をめざし、西淡中学校として新たな歴史を築き始めました。両校生徒が心の支えとしてきた「御中精神」及び「海の如く山の如く」を刷新し、新たに校訓として制定しました。真新しい校旗、生徒のアイデアにより考案された校章、多くの方々の観智で作られた校歌等々、新しい枠組みの中で創造的な教育活動を目指します。郷土が誇る景勝地、慶野松原の環境保全活動（松原清掃作業）を通し、豊かな人間性を備えた生徒の育成に取り組みます。

南あわじ市立南淡中学校

住所 南あわじ市潮美台3番地1
沿革

- 昭和 58年 福良・賀集・北阿万・阿万・灘の統合により南淡町立南淡中学校創立
- 平成 12年 エレベーター設置
- 平成 17年 南あわじ市立南淡中学校と改称
- 平成 19年 校舎教室棟大改修



学校の特徴

◎伝統文化の継承と発展

500年以上の歴史を持ち、重要無形民俗文化財の指定を受けている淡路人形浄瑠璃の伝統を絶やすことなく、郷土芸能部が全国各地から公演依頼を受け活動しています。

◎朝の全校読書

こころ豊かな人づくりと落ち着いた学習の雰囲気を作り上げます。

◎新聞から学ぶ

総合的な学習の時間を使って社会事象に興味関心を持ち調べたことを効果的に表現・発表します。

南あわじ市立三原中学校

住所 南あわじ市市十一ヶ所14番地12
沿革

- 昭和 36年 三原町立三原中学校創立
- 昭和 43年 屋内運動場兼講堂竣工
- 平成 16年 校舎改築完了
- 平成 17年 南あわじ市立三原中学校と改称
- 平成 22年 創立50周年記念式典



学校の特徴

自主・協働・勤勉・感謝の校訓のもと、「自らの夢の実現に向け、何事にも一生懸命努力しよう」を合い言葉に、生徒は生徒会を中心にあいさつができ、自主的に責任ある活動を進め、努力することの大切さや感謝と思いやりの心を学んでいます。教師は生徒の共感的理解を大切に、個々の可能性を伸ばすサポートに徹しています。豊かな自然に恵まれた校区内で、昭和46年から始まった理科部のホタル飼育・放流活動は現在も継続し自然の大切さやすばらしさを実感しています。また、郷土部は伝統文化の人形浄瑠璃を継承するため講師を招き、活動しています。

南あわじ市立沼島中学校

住所 南あわじ市沼島992番地
沿革

- 昭和 22年 沼島町立沼島中学校創立
- 昭和 30年 南淡町立沼島中学校
- 平成 17年 4町合併により南あわじ市立沼島中学校と改称



学校の特徴

兵庫県の最南端に位置し、淡路島本島から海上4.4kmに位置する離島へき地の小規模校です。全校生徒は17名、一人一人を大切にしたいきめ細かな学習指導の充実を図っています。18年間続けている「沼島を知る活動」の中で、伝統ある沼島音頭を継承し、自然班は島の自然保全に努め、歴史班は国生み伝説の舞台を調べ、生徒会はナルトサワギタ駆除作戦や海岸清掃等を行い「ふるさとを愛し、誇りに思う生徒の育成」に取り組んでいます。また、隣接の小学校と連携した「へき地教育」「防災教育」から9年間の教育を創造し、学校教育目標「ふるさとの明日を見つめ、こころ豊かに、心身共にたくましく生きる生徒の育成」を図っています。

南あわじ市・洲本市 組合立広田中学校

住所 南あわじ市広田中筋107番地
沿革

- 昭和 22年 広田中学校創立
- 昭和 35年 三原郡緑町・洲本市組合立広田中と改称
- 平成 3年 新校舎・運動場竣工
- 平成 17年 南あわじ市・洲本市組合立広田中学校と改称



学校の特徴

隣接する広田小学校と運動場を共有する一小一中の学校です。各学年2クラスの規模で、生徒数の減少の少ない校区です。体育会や避難訓練など小中合同の行事を通し、小中の連携に向けた取組に力を入れています。体育会での全校生による広中ソーランや、文化祭での全校合唱、ダンス発表会など生徒会や3年生のリーダーが中心となり主体的に活動を進めています。校区は、商業地域とのどかな農村地域が融合した暮らしやすい環境にあります。

また、「鮎屋の滝」など、自然豊かで風光明媚な名勝が数多くあります。

